

鍛造工業における環境自主行動計画の継続について

平成17年（2005年）に策定しました「鍛造工業の環境自主行動計画」は、2000年度を基準として、2010年度までに二酸化炭素排出原単位（対生産高）を1%づつ及び廃棄物の排出原単位を3%づつ、毎年低減することを努力目標に掲げ、毎年フォローアップ調査を実施して、その結果と各社の省エネ取り組み事例を公表してきました。

昨年、2010年のフォローアップ調査が終了し、当初策定の区切りがついた状況に鑑み、安全衛生環境委員会（松本 眞 委員長）は、昨年11月2日（水）、日産自動車株式会社 いわき工場にて開催した第13回委員会で、同計画の今後に関して検討を行いました。

審議の結果、環境の変化によって内容を見直すことを前提に、本行動計画を5年間（2015年度調査まで）継続することが決議されました。

従いまして、従来通りフォローアップ調査及び省エネ対策事例調査を引き続き実施させていただきますので、ご協力賜りますようお願い致します。

なお、以下に行動計画目標及び排出量及び排出原単位推移を掲載致します。

◇行動計画

(1) 地球温暖化対策

【目標】

二酸化炭素排出原単位（対生産高）を、2000年度を基準として2015年度までに、毎年1%づつ低減するよう努力する。

0.66486CO₂ ㍻/生産高 (t) ⇒ 0.56513CO₂ ㍻/生産高 (t)

(2) 循環型社会の構築（廃棄物対策）

【目標】

廃棄物の排出原単位（対生産高）を、2000年度を基準として2015年度までに、毎年3%づつ低減するよう努力する。

0.0384㍻/生産高 (t) → 0.0211㍻/生産高 (t)